銚　子　の　水　産



金宝丸お披露目　外川漁港

水産課

令和８年４月

目　次

１．銚子市の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ　１

２．銚子市勢・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ　２

３．銚子の魚、全国主要漁港水揚順位・・・・・・・・・・・・・ｐ　３、４

４．水産加工・流通・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ　５、６

５．銚子漁港と魚市場・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ　７、８

６．外川漁港・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ　９

７．東日本大震災の影響・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ　１０

８．ブランド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ　１１

９．銚子漁港水揚げ日本一の理由・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ　１２

１０．漁業者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ　１３

１１．内水面漁業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ　１３

１２．栽培漁業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ　１４

１３．海事事務・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ　１５

１４．水産ポートセンター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ　１６

１５．漁業権・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ　１７、１８

１６．漁業許可・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ　１９

１７．水産行政の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ　２０

１８．参考資料・・・・・・ｐ　２１、２２、２３、２４、２５、２６、２７

１．銚子市の概要

銚子市は、昭和８年２月に千葉県内で２番目に市制を施行し、人口は５２，５２０人、世帯数は２６，６３０世帯です（令和８年４月１日現在住民基本台帳人口）。

銚子市は、関東平野の最東端、東京から１００キロ圏域に位置し、東と南が太平洋に面し、北を利根川が流れ、三方を水面に囲まれています。利根川河口から屏風ケ浦に至る海岸線は変化に富んだ景観を形成し、日本ジオパークにも認定されています。

沖合には水深２００メートルの大陸棚が広がり、北からの親潮（寒流）、南からの黒潮（暖流）が交錯しています。また、利根川からの有機物を含んだ真水の流入により、全国屈指の好漁場が形成されています。このため、本市の代表的な漁業である旋網漁業をはじめ、底曳網漁業など沿岸・沖合漁業の根拠地として、全国の漁船が集結しています。

銚子漁港は、四季を通じて旬の魚が豊富に水揚げされ、一方、陸上では大規模な流通・加工機能を備え、海と陸が一体となり全国屈指の一大水産基地として発展しています。令和７年の水揚量は約２２万４千トンで全国１位、水揚金額は約２４３億円で全国５位となっています（水産経済新聞掲載記事参考）。

本市は、古くから栄えた歴史と伝統を受け継ぎ、水産業、農業、醤油醸造業という日本食の基本となる食品産業を基幹に、豊かな自然環境の中で、観光業などの産業に支えられて発展してきたまちです。





犬吠埼灯台

２．銚子市勢

位　置　　東経１４０度４１分～１４０度５２分、北緯３５度４１分～３５度４８分
面　積　　８４．１２ｋ㎡
広がり　　東西１６．２ｋｍ、南北１２．８ｋｍ
市の木　　さざんか（昭和５８年２月１１日指定）
市の花　　おおまつよいぐさ（昭和５８年２月１１日指定）
市の魚　　いわし（平成１５年２月１１日指定）
姉妹都市　　アメリカ合衆国オレゴン州クースベイ市（昭和５８年２月１０日協定締結）
〃　　フィリピン共和国アルバイ州レガスピー市（昭和６０年６月２７日協定締結）

人　口

国勢調査	世帯数	人口(人)
平成 7 年 10 月 1 日	25,448	82,180
〃12 年 10 月 1 日	25,889	78,697
〃17 年 10 月 1 日	26,812	75,020
〃22 年 10 月 1 日	27,035	70,210
〃27 年 10 月 1 日	26,234	64,415
令和 2 年 10 月 1 日	25,544	58,431
〃7 年 10 月 1 日	24,135	51,378

年齢区分別人口　　（令和７年国勢調査）

総　数	51,378（人）	割合(%)
年少人口（0～14 歳）	3,223	６．３
生産年齢人口（15 歳～64 歳）	26,322	５１．２
老年人口（65 歳以上）	21,278	４１．４
不詳	555	１．１

１５歳以上就業人口　（令和２年国勢調査）

総　数　（分類不能を含む）	27,946(人)	割合(%)
第１次産業	2,949	１０．６
第２次産業	7,930	２８．４
第３次産業	16,306	５８．３

人口動態　　（令和７年常住人口調査）　　（単位：人）

自然動態	出 生	108	死 亡	1,047
社会動態	転 入	1,756	転 出	1,919

（2026 銚子市勢のしおり）

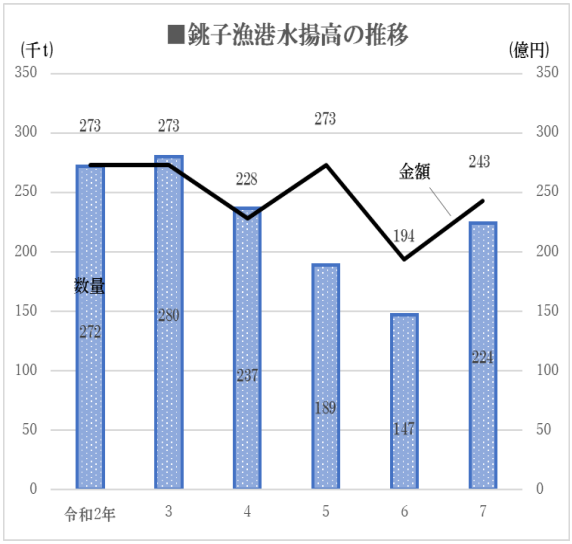
３．銚子の魚

銚子沖合は、北上する黒潮と南下する親潮そして利根川の流入による交錯で日本有数の好漁場を形成しています。県内外の旋網やさんま棒受網、沖合底曳網漁業などの大型漁船漁業から、釣り、延縄、小型底曳網漁業などの小型漁船漁業に至るまで、様々な漁業が営まれています。

そうした背景の下で、全国屈指の水揚げを誇る銚子漁港は、令和７年における全国主要漁港の水揚げ順位で、数量が第１位（２２万３,９９４トン)、金額が第５位（２４３億１,７０３万円）になっています。水揚数量の順位と水揚金額の順位に差があるのは、他の漁港に比べて安価の魚種が大量に水揚げされているからです。

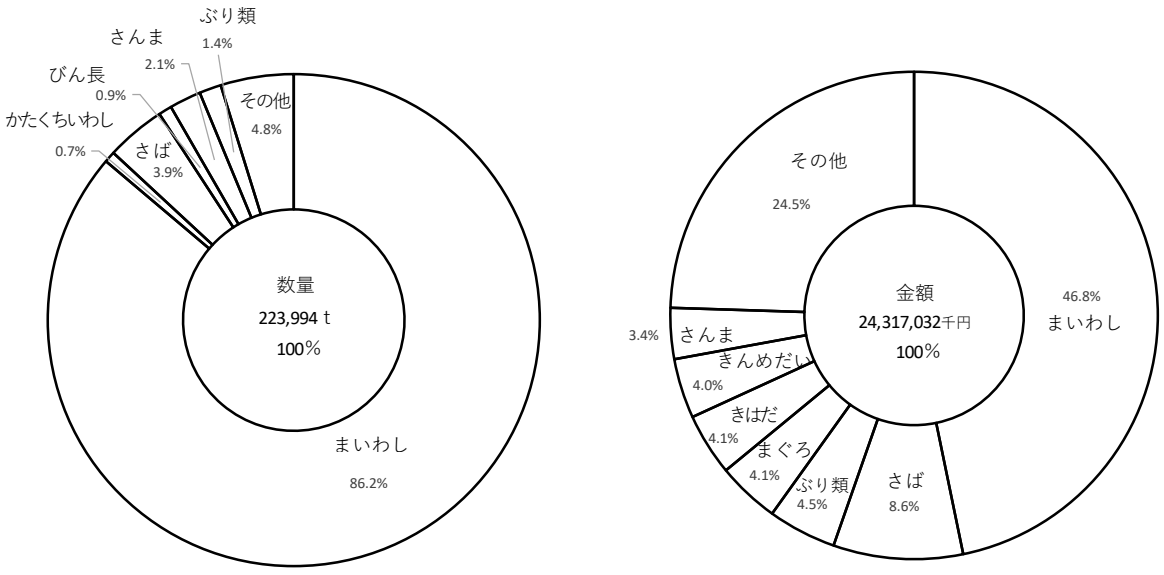
水揚げされる魚種は、サバ、マイワシといった多獲性魚のほかに、カツオ、マグロなどの回遊魚、キンメダイやヒラメ、カレイなどの底魚など２００種類に及ぶ近海の魚介類が水揚げされます。この水揚量の約９０％は、マイワシ（８６.２％)、サバ（３.９％)、が占め、水揚金額でもこの２魚種が全体の約５５％を占めます。

なお、銚子に水揚げされる全てのマグロは冷凍ではなく「生」マグロという大きな特徴があります。また、5~7月のマイワシは「入梅イワシ」と呼ばれ、特に太って丸みがあり１年の中で最も脂の乗りがよいことが知られています。その他にキンメダイは「銚子つりきんめ」として高級ブランド魚として全国的に有名です。



資料 銚子市漁業協同組合

主　要　魚　種　の　水　揚　高　比　率



資料 銚子市漁業協同組合

令和７年　全国主要漁港水揚順位

順位	漁港	数量（ｔ）	順位	漁港	金額（千円）
1	**銚子**	**223,994**	1	焼津	46,920,416
2	釧路	130,577	2	福岡	46,302,885
3	境港	127,722	3	長崎	33,492,791
4	焼津	117,213	4	境港	24,613,011
5	長崎	111,298	**5**	**銚子**	**24,317,032**
6	松浦	103,184	6	根室	22,632,383
7	枕崎	77,730	7	松浦	19,558,375
8	石巻	71,754	8	石巻	19,109,860
9	福岡	65,871	9	枕崎	17,746,632
10	広尾	56,161	10	三崎	16,961,445
11	根室	50,721	11	稚内	16,564,026
12	稚内	49,506	12	気仙沼	16,060,762
13	気仙沼	44,332	13	下関	13,803,662
14	唐津	34,390	14	八戸	11,096,498
15	佐世保	32,865	15	塩釜	10,601,669
16	女川	29,081	16	釧路	9,436,527
17	八戸	22,536	17	女川	7,649,862
18	下関	22,006	18	佐世保	7,644,377
19	大船渡	20,633	19	沼津	7,555,999
20	三崎	16,041	20	唐津	7,150,806

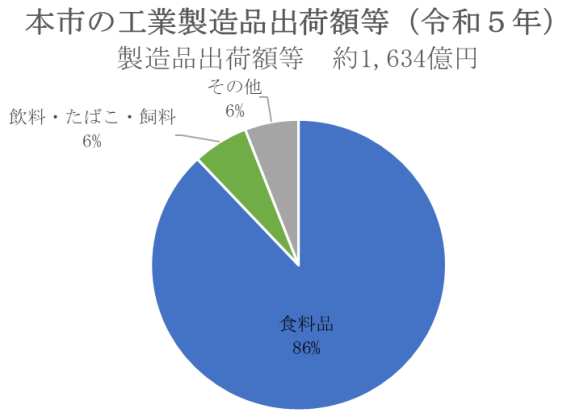
（時事通信社調べを一部修正したもの）

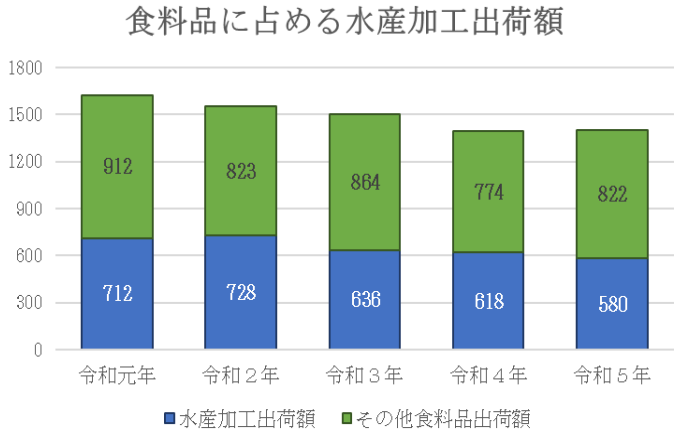
※金額は税込み

※数量・金額とも、焼津には小川を含む、根室には歯舞、落石を含む。

４．水産加工・流通

銚子市の水産物加工の生産額約５８０億円は、市全体の工業製造品出荷額１,６３４億円の約３５％（醤油醸造等は約５０％）に相当し、銚子市の産業に占める水産物加工の重要度がわかります。





水産加工の流通は、マイワシの水揚数量の約３６％が生鮮、練り製品、すり身、缶詰などの食用として、残り約６４％が養殖または漁業用のえさとして使われています（2024年水産物流調査）。

サバは文化干し、フィレ、開干し、青切りが関東を中心に販売されています。これに対し、塩蔵サバは名古屋、大阪、京都、神戸などの大都市を中心とした関西方面への販売が多く、鮮魚とともに関西方面に好まれています。

また、近年は、サバがエジプトなどのアフリカ、ロシア、東アジア、東南アジアなどへ輸出されています。

缶詰の製品としては、サバ、イワシ、サンマ、サケなどです。水産缶詰・瓶詰の加工を行う事業所は平成１３年には市内に４社ありましたが、平成２６年には２社となっています。

練り製品は、はんぺん、かまぼこ、ちくわ、さつま揚げ、つみれなどです。出荷先は静岡以北で、特に関東・東北へ多く出荷されています。おでん種としての利用が多いため、夏期の生産量は減少します。原料魚は、イワシ、スケトウダラなどを使用します。

水揚げされた魚の鮮度保持、加工原料の確保、加工品の出荷時までの保管には冷凍冷蔵施設が不可欠です。銚子の冷凍冷蔵工場の件数は５２件で全国５位、一日あたりの凍結能力は２,９５１トンで全国１４位であり、この能力なくして銚子の水産業の発展はあり得ません（2023 年漁業センサス）。

現在、水産物の国内輸送は、ほとんどが自動車によるものです。東京までは約３時間であり、産業経済の振興のうえで高速道路の接続が望まれています。

工　業		令和元年	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年
水産物加工（従業者４人以上の事業所）	事業所（社）	73	67	65	79	77
	従業者（人）	2,134	1,861	1,764	1,743	1,699
	出荷額（万円）	7,277,481	6,361,494	6,077,265	6,178,306	5,797,732
醤油・調味料	出荷額（万円）	8,037,057		7,941,888	7,756,422	8,161,262

※令和２年の「醤油・調味料」は資料なし
（統計書 令和７年度版、2026 銚子市勢のしおり）

水産加工関係事業所数、従業者数及び製造品出荷額等	令和５年		
	事業所数（社）	従業者数（人）	製造品出荷額等（万円）
総数	77	1,699	5,797,732
水産缶詰・瓶詰	2	174	x
海藻加工	2	24	x
水産練製品	4	117	146,339
塩干・塩蔵品	12	159	394,384
冷凍水産物	22	471	2,126,112
冷凍水産食品	30	698	2,724,339
その他水産食料品	5	56	154,915

（統計書 令和７年度版）

製氷冷凍工場数（能力）

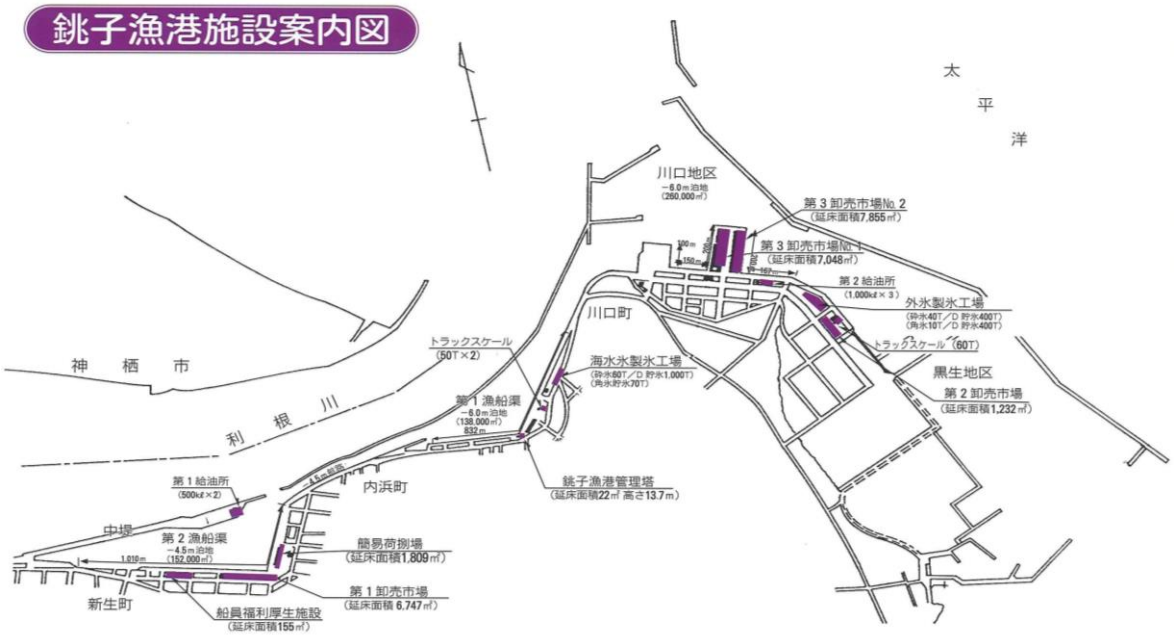
項　　目			平成 20 年	平成 25 年	平成 30 年	令和５年
製氷工場	（工場数）		8	7	7	4
	製氷	（トン／日）	795	793	778	583
	貯氷	（トン）	8,950	8,950	8,150	6,400
冷凍冷蔵工場	（工場数）		104	88	69	52
	冷凍	（トン／日）	3,639	3,408	3,402	2,951
	冷蔵	（トン）	204,305	183,522	180,170	162,720

（製氷高及び使用高集計表、漁業センサス）

５．銚子漁港と魚市場

全国有数の水揚げを誇る銚子漁港は特定第三種漁港（水産業の振興上特に重要な漁港として政令で定められ、現在１３漁港が指定されている）であり、全国から漁船が集結しています。

銚子漁港には３つの卸売市場があり、取り扱う魚種はそれぞれ異なります。第１卸売市場では主にマグロ類、第２卸売市場ではサバ、マイワシなど多獲性魚、第３卸売市場では主にキンメダイやヒラメ、カレイ、ヤリイカなど多種多様な底魚を中心に取り扱われます。



※『銚子漁港魚市場 2026』より抜粋

銚子は江戸時代、利根川の水運で江戸と結ばれていたため、秋田・山形・宮城などの東北各地から江戸へ送られてくるコメや木材、また、北海道からの海産物等を積んだ船の中継港となり、関東の産物を東北地方へ積み出す商港として「東国一の港」と呼ばれ、「江戸の外港」としての機能を果たしていました。銚子の特産物である水産物や醤油等も江戸という販路に支えられ、銚子は“江戸の台所”として発展しました。

明治以後、外洋を航海する船舶は大型化し、大型汽船の入港できない河口港は中継港としての機能を失うようになりました。また、鉄道が発達すると河川を利用していた運輸も衰え、昭和初期には銚子の商港機能が喪失しました。しかし、そのころわが国の漁業は動力漁船の発達と漁法の改良によって沿岸漁業から沖合漁業への発展期にあり、銚子港は沿岸、沖合漁業の一大基地に発展しました。その推進力となったのは、商港として繁栄していた時代に蓄えられた銚子の経済力だったのです。大正の中頃までは、銚子港の形態はほとんど天然のままで、わずかに沿岸の砂浜の所々に防波用の合掌枠や桟橋が設けられていた程度でした。この銚子港に初めて本格的かつ近代的な人工の手を加えたのが、大正１４年開始の千葉県営事業銚子漁港修築工事であり、戦後の昭和２１年に工事が終了しました。

その後、昭和３８年度から国の「第３次漁港整備計画」により近代漁港としての本格的な整備が開始され、第４次・５次・６次・７次・８次・９次・漁港漁場長期整備計画と順調に整備が進みました。

銚子の川口は日本三大難所の一つで、昔から海難事故が多発し、「阿波の鳴門か銚子の川口、伊良湖渡合（いらごどあい）が恐ろしや」といわれるほどでした。昭和４３年から４４年にかけても利根川河口において漁船の遭難が相次いで起こったため、第４次整備計画で「緊急３カ年計画」が策定されました。そしてついに、関係者の悲願であった利根川河口を航行しないですむ新航路、いわゆる「銚子漁港の運河」が昭和４６年１１月８日に完成し、河口における遭難事故は解消されました。

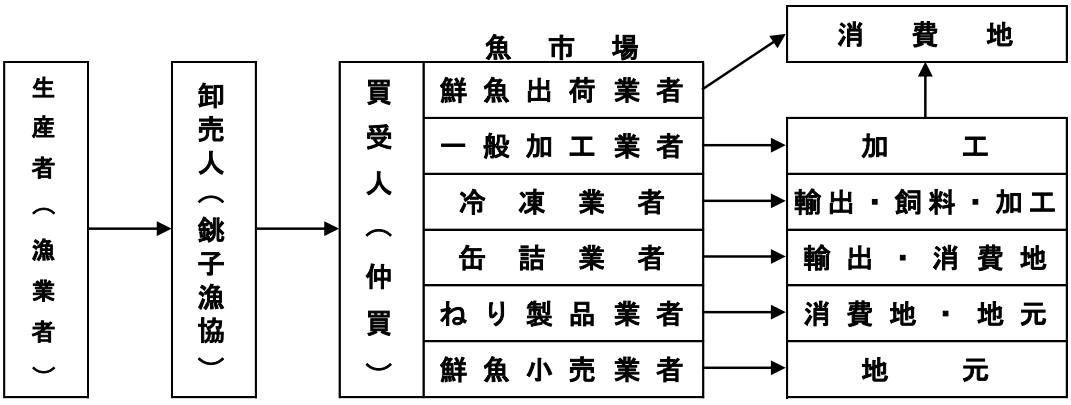
総合漁業基地化の一環として、第５次整備計画から川口外港部の埋立工事（昭和４８年～４９年）に着手しました。以後、黒生１期（昭和４９年～５７年)、２期（昭和５２年～６３年)、３期（昭和６３年～平成１１年）が完成し、水産加工場、冷蔵庫用地として分譲を行うなど出荷から保管、流通面において一層の飛躍が図られました。

魚市場の卸売市場は、市街地から外港に向かって、第１、第２、第３卸売市場と受入施設の整備拡充が図られました。昭和７年に県有の銚子漁港魚市場に中央魚市場が完成し、昭和９年１０月に千葉県水産株式会社が県から施設を借り受けて業務を開始しました。

昭和４７年２月に銚子市漁業協同組合は、県から魚市場施設を有償で譲り受け、開設者及び卸売人となりました。平成８年９月に市内６漁業協同組合（銚子、外川、黒生、西、川口、小型機船底曳網）が合併しました。取り引きの方法は入札方式で、市場手数料は３％です。買受人は、鮮魚出荷業者、一般加工業者、冷凍業者、缶詰業者、練り製品業者、鮮魚小売業者で１８８人が登録され、買い付けしています。魚市場は、平日の午前７時から午後５時まで営業しています（『銚子漁港魚市場 2026』より）。

銚子漁港では、平成２６年度に市場食堂、女性部活動拠点施設などを併設した高度衛生管理型の第１卸売市場、平成２９年度には第３卸売市場近隣に新たな製氷工場、令和６年度には高度衛生管理型市場として第３卸売市場 No.１が完成しました。令和７年度には第２卸売市場が完成し、日本全国に安心・安全な水産物を供給するものとして期待されています。

流通図



※『銚子漁港魚市場 2026』より抜粋

６．外川漁港

外川漁港は銚子半島の南端に位置する第２種漁港です。

築港者は明暦２年（１６５６年）に紀州（現在の和歌山県）から移住した崎山治郎右衛門で、紀州の漁業技術の伝承と外川漁港建設に尽力したと伝えられています。

当時、波止めの石は付近の山から切り出したものと思われますが、それを海岸まで運ぶことは容易ではなかったと想像できます。もちろんセメントはなく石と石との継ぎ目には鉛・硫黄・その他の金属を溶かし込んで留めていました。

崎山治郎右衛門は、港を中心としたまちづくりも行い、道路に石畳を敷き、区画整理をするなどの整備を行いました。このまち並みが現在も残されていることから当時を知る貴重な漁村風景となっており、平成１８年には「未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選」に選ばれ、まち歩きをする観光客が増えています。

外川漁港は建設後２００年以上、外川の漁業基地として大きな役割を果たし、一時は銚子漁港をもしのぐほど繁栄しました。その後、幾多の盛衰を経て、漁業の進歩と漁船の増加による漁港修築の必要性から大正１１年に取り壊しましたが、それまで修理を行わなかったということは、いかに当時の築港が堅ろうであったかを物語っています。

同港はその後、大正後期からの修築工事によって昭和１８年に完成しました。その後、漁船の大型化等によって港内が狭あい化したため、昭和２３年から県費補助による改修整備を行い、昭和２７年に第２種漁港に指定されました。

昭和４４年には銚子市から千葉県に管理移管され、当時の利用は地元漁船のみでしたが、管理移管と同時に国の「第４次漁港整備計画」の指定を受け近代工事の着手となりました。防砂堤・防波堤の工事が行われ、昭和４８年度からは、「第５次漁港整備計画」により東防波堤・西防波堤・護岸等の外かく施設及び物揚場を整備し、泊地凌きょ等の工事を実施しました。昭和５２年度からの「第６次漁港整備計画」により、岸壁・船揚場・泊地凌きょ・埋立地造成・道路等の整備を行って陸上施設を完備し、昭和５７年度から「第７次漁港整備計画」へ移行して南風の際の港内の静隠、漁船の安全係留、土砂の流入防止を目的に沖の島堤（離岸堤）が布設され、さらに延長工事が計画されています。

造成された漁港施設用地（公共用埋立地）へは、旧外川漁業協同組合が事業主体で昭和５２年度に組合事務所・荷さばき施設・漁村環境改善総合センターが建設されました。

平成１４年度に施行された「漁港漁場整備法」（令和６年４月１日改正「漁港及び漁場の整備等に関する法律」）により、共同漁業権内における漁港と漁場の両施設を一体的かつ効率的に整備することを基本方針とし、資源管理型漁港・つくり育てる漁業への支援、狭あいな漁港形態を解消するための新泊地と埋立用地の整備等、より効率的な流通機能の向上及び円滑な漁業活動と漁家経営の安定を図るための整備を推進しています。

外川漁港には、キンメダイ漁を行うキンメ船団が集結しており、ブランド水産物「銚子つりきんめ」の漁獲、資源管理、ＰＲに活躍しています。

７．東日本大震災の影響

平成２３年３月１１日、宮城県牡鹿半島沖を震源として発生した地震は、日本の観測史上最大のマグニチュード９．０を記録し、波高１０メートル以上、最大遡上高４０．１メートルにものぼる大津波を発生させました。この地震と津波による死者・行方不明者は、１万８千人以上に上っています。

太平洋沿岸に位置する漁港が軒並み津波に見舞われる中、宮城県の石巻漁港や気仙沼漁港をはじめとする三陸沿岸の漁港は特に甚大な被害を受け、漁港周辺地域が壊滅状態となりました。「世界３大漁場」の１つとされる三陸沿岸の壊滅は、水産業関係者に大きな衝撃を与えました。

銚子市も例外ではなく、銚子漁港は、第１卸売市場が倒壊の危機により閉鎖したのをはじめ、漁港施設に損壊や浸水などの被害を受けました。外川漁港から潮見町にかけてはとりわけ大きな津波を受け、潮見町の水産加工団地は、建物や冷凍・冷蔵庫、車両などが損壊・浸水するという甚大な被害を受けました。また、利根川沿いの地域にも被害は及び、内水面漁業船入場は、護岸・岸壁の損壊、敷地の地割れ、土砂の流入などが生じました。

一方で、東京電力福島第一原子力発電所が、地震と津波により全電源を喪失して原子炉を冷却できなくなり、大量の放射性物質の放出を伴う重大な原子力事故に発展しました。放射性物質は海にも流出し、一部の水産物は、高濃度の放射性物質が検出されたことから出荷停止となりました。これにより、放射性物質が基準値を超えていない、安全であるはずの水産物に対しても風評被害が発生し、漁業者にとっては、水揚げしても適正な価格がつかない、水産物加工業者などの買受人にとっては、取引先や消費者の買い控え、また輸出相手国からの規制により商品が売れないという深刻な事態となりました。

震災から１５年が経過し、風評被害による価格下落、取引先や消費者の買い控えは落ち着きを取り戻したものの、未だ一部の国や地域からの輸入規制は続いています。

銚子市では、平成２４年９月から放射性物質検査を行っており、結果を銚子市ホームページにて公開しています。水揚げされた水産物が安心・安全であることを発信するため、放射性物質検査は現在も継続して行っています。

銚子市内漁船被害件数（内水面含む）

	全壊	転覆	一部損壊	座礁・乗り上げ
漁船	18	12	35	21

８．ブランド

銚子つりきんめ

平成１８年１１月千葉ブランド水産物第１号に認定された「銚子つりきんめ」の漁場は、銚子の沖合約５０キロの太平洋で、日本近海のキンメダイの生息地の北限といわれています。このあたりは、黒潮と親潮がぶつかりあい、えさとなるプランクトンや小魚類が豊富な海域です。漁法は、底立て縄と呼ばれる手釣りで非常に手間がかかりますが、魚体を傷めないための最善の漁法です。水揚げされたキンメダイの多くは、豊洲などの消費地市場へ出荷された後、高級割烹(ぼう)や料亭の膳に華を添えます。銚子沖のキンメダイは、周年、脂ののりの良いことが特徴です。

「銚子つりきんめ」のブランド化への道

キンメダイのブランド化をめざし、銚子市漁業協同組合では、品質の向上はもちろん、他地域との差別化が重要であることから、その第１歩として千葉県が平成１８年度から始めた「千葉ブランド水産物認定制度」の認定を受けるため申請しました。

本制度は、千葉県の優良な水産物を県が認定し重点的にＰＲすることで消費の拡大、魚価の向上につなげることを目的としています。

重さ５００グラム以上（※平成 18 年当初は 700 グラム以上で認定）の大型のキンメダイを対象とし、夜間操業・樽流し漁法などを禁止して資源管理を徹底したこと、さらに「きんめだいまつり」や「銚子市産業まつり」などＰＲ活動に力を入れたことが評価され、「銚子つりきんめ」が「千葉ブランド水産物認定制度」第１号に認定されました。

これまで、水揚げの急増により魚価が低迷していた時期がありましたが、「きんめだいまつり」を開催した平成７年度以降、漁獲量が多くなっても魚価が安定し「銚子つりきんめ」がこの認定によって高級ブランドとして広く知られ、市民・観光客に絶大なる人気商品となっています。



９．銚子漁港水揚げ日本一の理由

１　地理的好条件

銚子の沖合には、水深２００メートルの大陸棚が広がり、北からの寒流・親潮（千島海流）と南からの暖流・黒潮（日本海流）が沖でぶつかり、潮目（潮境）を形成しています。

海流がぶつかることによって海の栄養分が停滞し、プランクトンが大量に発生するため、それをエサとするイワシなどの小魚、さらに小魚を食べるサバ、カツオなどがたくさん獲れる、よい漁場となっています。

また、日本最大の消費地である東京から１００キロ圏域に位置しており、流通の面でも好条件を有しています。

２　冷凍冷蔵能力

冷凍冷蔵工場数５２件で全国５位、一日あたりの凍結能力は２,９５１トンで全国１４位であり、水揚げされた魚の鮮度保持、水揚げ数量の安定化、加工の原料確保、出荷時までの製品の保管に、冷凍冷蔵庫及び保冷のための氷の生産は不可欠です（2023 年漁業センサス）。

３　廻船

銚子の水揚げの８割を廻船（地元船以外の船）が占めています。

銚子には１と２に挙げた地理的な好条件、冷凍冷蔵能力があり、受入体制が整っているため、地元以外の船も安心して水揚げすることができます。

銚子漁港の廻船による水揚高

	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年	令和７年
数量（ﾄﾝ）	235,666	241,599	201,887	158,869	123,984	181,895
数量比率(%)	87%	86%	85%	85%	85%	81%
金額（千円）	22,779,568	22,593,464	18,339,881	21,466,967	15,665,791	19,389,388
金額比率(%)	83%	83%	80%	80%	81%	80%

※比率は銚子漁港の水揚げ全体に占める廻船の割合

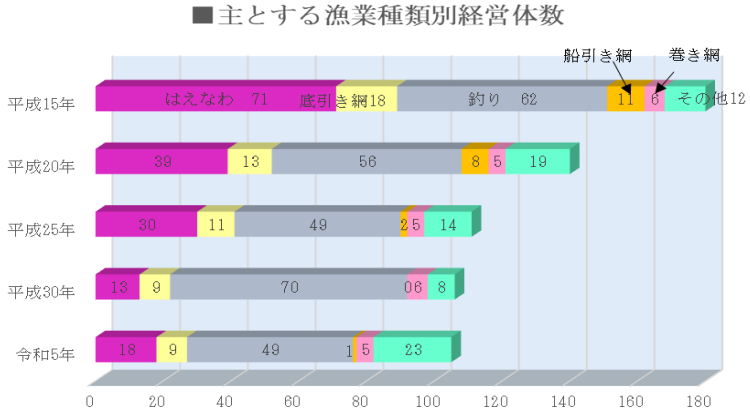
※『銚子漁港魚市場 2026』より抜粋

１０．漁業者

令和５年の漁業センサスでは、海面漁業経営体が７７経営体で、うち個人で営んでいるものが６６経営体、会社が営んでいるものが１０経営体、漁業生産組合で営んでいるものが１経営体です。

漁業種類別経営体では、沖合底曳網漁業が２経営体、小型底曳網漁業が７経営体、船曳網漁業が１経営体、大中型旋網漁業が５経営体、刺し網漁業１０経営体、さんま棒受網漁業２経営体、その他の網漁業４経営体、延縄漁業１８経営体、釣り漁業４９経営体、採員・採藻３経営体、その他の漁業５経営体です。

令和５年の漁業就業者数は３０４人で、平成１５年からの２０年間で２４９人の減少となっています。



資料：漁業センサス

海面漁業の就業者数の推移

年	就業者数
H15	553
20	482
25	420
30	395
R5	304

１１．内水面漁業

銚子の漁業は海面漁業だけでなく利根川での内水面漁業も昔から行われてきました。

過去、利根川ではヤマトシジミが豊富に獲れたこともありましたが、現在は養殖用うなぎの稚魚である「シラスウナギ」漁（１２月～４月漁期）を中心に行われており、全国有数の水揚げ量となっています。

市所管の内水面漁業船入場

令和8年4月時点

No.	名称	所在地	構造	占用面積(㎡)
1	芦崎町船入場	芦崎町307番地先	鋼矢板護岸 コンクリート船揚場	5,684.88
2	高田町・ 野尻町船入場	高田町6丁目920番地先	コンクリート護岸　391m コンクリート敷石船曳場　300㎡ 柵板護岸 鋼矢板護岸　　18m	8,749.22
3	忍町船入場	忍町151番地の2地先	鉄筋コンクリート矢板護岸 鉄筋コンクリート柵渠 鉄筋コンクリート構造 鋼矢板護岸 かごマット護岸	7,908.62
4	銚子市豊里ドック	笹本町175番地先	鋼矢板護岸　　162.6m 小型重力式擁壁　22.7m コンクリート船揚場　1,266㎡	10,770.40
5	宮原町船入場	宮原町地先	コンクリート矢板護岸 152.8m コンクリート敷石船曳場　80㎡	2,935.60
計	5箇所			36,048.72 ≒36,049

１２．栽培漁業

資源を維持増大させ漁業の振興を図るため、マダイ、ヒラメ、フナ、ウナギの種苗放流を実施しています。なお、マダイについては、中間育成した後、放流しています。

※令和7年のヒラメに関しては千葉県種苗生産施設の再編整備の関係で種苗配付休止

マダイ・ヒラメ種苗放流実績（銚子地区）

（単位：匹）

年度／魚種	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
マダイ	114,656	158,870	162,795	158,050	122,362	143,676
ヒラメ	133,600	137,700	138,600	276,000	275,300	

フナ・ウナギ種苗放流実績（内水面）

（事業量単位：kg）

年度	魚種	事業量	大きさ（cm）	放流年月日	放流場所
2	フナ	120	3～15	令和2年12月4日	利根川共同漁業権番号内共第11号漁場内東庄町地先利根川
	ウナギ	10	15～23		
	計	130			
3	フナ	120	3～15	令和3年12月13日	同　上
	ウナギ	10	15～23		
	計	130			
4	フナ	120	3～15	令和4年12月15日	同　上
	ウナギ	10	15～23		
	計	130			
5	フナ	120	3～15	令和5年12月13日	同　上
	ウナギ	10	15～23		
	計	130			
6	フナ	120	3～15	令和6年12月19日	同　上
	ウナギ	10	15～23		
	計	130			
7	フナ	120	3～15	令和7年12月19日	同　上
	ウナギ	10	15～23		
	計	130			

１３．海事事務

１　概　要

平成１５年３月３１日をもって国土交通省関東運輸局千葉運輸支局銚子海事事務所が閉庁されました。当該事務所において行われていた船員法の事務に関しては、銚子漁港及び外川漁港に入港する漁船漁業者にとって、船員手帳の交付等日常的に行われるものであり、地元での手続きができなくなることは漁業者の利便性を阻害し、なおかつ廻船の入港（誘致）を鈍化させる要因になるものと考えられました。それらの理由から平成１４年１０月３１日に銚子市漁業協同組合より指定市町村の指定の要望を受け、同年１１月１９日に国土交通省へ申請をし、平成１５年３月６日に承認されました。

平成１５年４月１日より当該事業を開始し、現在に至っています。

２　指定市町村で取り扱う事務

- 航行に関する報告の受理
  …船舶の事故等が発生した時の報告。
- 雇入契約の届出に関すること
  …船員の雇入、雇止、変更（職務、雇入期間等）、更新。
- 船員手帳に関すること
  …船員手帳の新規交付、書換え、再交付、訂正、写真の貼り替え。

３　手数料

- 航行に関する報告の受理　　無料
- 雇入契約の届出受理　　無料
- 船員手帳交付　　１，９５０円
- 船員手帳書換え　　１，９５０円
- 船員手帳再交付　　１，９５０円
- 船員手帳訂正　　４３０円（官庁誤記、行政区画変更の場合は無料）
- 船員手帳写真の貼り替え　　無料

海事事務取扱件数　　(単位：件)

年度	船員手帳					雇　入					合計
	交付	再交付	書換	訂正	小計	雇入	雇止	変更	更新	小計	
令和２	40	1	52	4	97	237	224	60	0	521	618
3	27	0	34	6	67	170	194	98	0	462	529
4	25	8	32	6	71	190	162	161	0	513	584
5	15	0	38	6	59	145	140	54	4	343	402
6	19	2	40	4	65	178	213	47	0	438	503
7	12	0	28	6	46	180	172	83	15	450	496

１４．水産ポートセンター

水産ポートセンターは、千葉県はもとよりわが国を代表する水産都市銚子にふさわしい新観光施設として平成３年（１９９１年）６月２３日にオープンしました。

千葉県の「ふるさと千葉５ヵ年計画」に基づいて、県が事業主体となる銚子ポートタワーと水産関係公共施設、第３セクターによる水産物即売センターの３種の施設が建設されました。その施設の概要は次のとおりです。

◆概　要

１　施設の内容と規模

（１）　水産関係公共施設

［鉄筋コンクリート造り３階建て
　延床面積　１，１３０平方メートル］

（ア）千葉県銚子水産事務所（２・３階）

（イ）千葉県水産総合研究センター流通加工研究室銚子分室（１階）

（２）　水産観光施設

（ア）　銚子ポートタワー（鉄骨造り・高さ６０メートル）

１階　展示ホール

２階　多目的ホール

３階　展望室（床面積　１０２平方メートル）

４階　展望室（床面積　２３４平方メートル）

（イ）　水産物即売センター（ウオッセ２１）

①　水産物即売センター［鉄筋コンクリート造り平屋建て１部２階建て
　延床面積　１，５４７平方メートル］

②　レストラン・管理棟［鉄筋コンクリート造り２階建て
　延床面積　７２５平方メートル］

（３）　その他付帯施設

（ア）　歩道橋（鉄骨造り・全長５４ｍ）

（イ）　駐車場（駐車台数：大型１０台・小型１４０台）※オープン時の台数

２　建設事業費　　３４億円

内訳　県営事業費分　　２４．８億円

市・第３セクター分　９．２億円

３　運　　営

銚子ポートタワー・・・県が建設、銚子市に貸与。銚子市が銚子市観光協会へ管理運営業務委託。

水産物即売センター（ウオッセ２１）

・・・銚子水産観光㈱（第３セクター）が建設・管理運営。

１５．漁業権

海面漁業

組合名	免許番号	種類	免許期間	漁場位置	漁業の名称及び漁業期間
銚子市漁業協同組合 共有 海匝漁業協同組合	共第5 6号	第1種	R5. 9.1 ～ R15. 8.31	銚子市小浜町 から 春日町 に至る地先	カジメ (1/1～12/31) テングサ (4/1～10/31) ツノマタ (1/1～12/31) ワカメ (9/1～翌5/31) ヒジキ (1/1～12/31) イワノリ (9/1～翌5/31) オニクサ (1/1～12/31) ドラクサ (1/1～12/31) フノリ (1/1～12/31) カキ (1/1～12/31) アワビ (4/1～9/15) サザエ (7/1～翌5/31) イセエビ (8/1～翌5/31) タコ (1/1～12/31)
銚子市漁業協同組合	共第5 7号	第1種	R5. 9.1 ～ R15. 8.31	銚子市西小川町 から 川口町 に至る地先	カジメ (1/1～12/31) テングサ (4/1～10/31) ツノマタ (1/1～12/31) ワカメ (9/1～翌5/31) ヒジキ (1/1～12/31) イワノリ (9/1～翌5/31) オニクサ (1/1～12/31) ドラクサ (1/1～12/31) フノリ (1/1～12/31) カキ (1/1～12/31) ウバガイ (1/1～12/31) アワビ (4/1～9/15) サザエ (7/1～翌5/31) イセエビ (8/1～翌5/31) タコ (1/1～12/31)
		第2種			雑魚固定式さし網 (1/1～12/31)

内水面漁業

組合名	免許番号	種類	免許期間	漁場位置	漁業の名称及び漁業期間
中利根漁業協同組合 共有 笹川漁業協同組合 北総漁業協同組合	内共第1号	第5種	R5. 9.1 ～ R15. 8.31	香取市及び 香取郡東庄町地先 （利根川）	コイ (1/1～12/31) フナ (1/1～12/31) ウナギ (1/1～12/31)
銚子市漁業協同組合 中利根漁業協同組合 下利根漁業協同組合	内共第12号	第1種	R5. 9.1 ～ R15. 8.31	銚子市及び 香取郡東庄町地先 （利根川）	カキ (1/1～12/31) アサリ (1/1～12/31) ハマグリ (1/1～12/31) エムシ (1/1～12/31)

（『千葉県における漁業権の概要』から抜粋）

※ 共同漁業権

第1種 定着性の水産動物、海藻類等を目的とする漁業

（海 面: アワビ サザエ イセエビ アサリ ハマグリ ワカメ ヒジキ等）

（内水面: シジミ カキ アサリ ハマグリ エムシ）

第2種 網漁具を移動しないように敷設して営む漁業であって定置漁業及び第5種共同漁業以外のもの

（固定式さし網 すだて 小型定置）

第5種 内水面において営む漁業であって第1種以外のもの

（コイ フナ ウナギ アユ ウグイ等）



『千葉県における漁業権の概要』から抜粋

１６．漁業許可

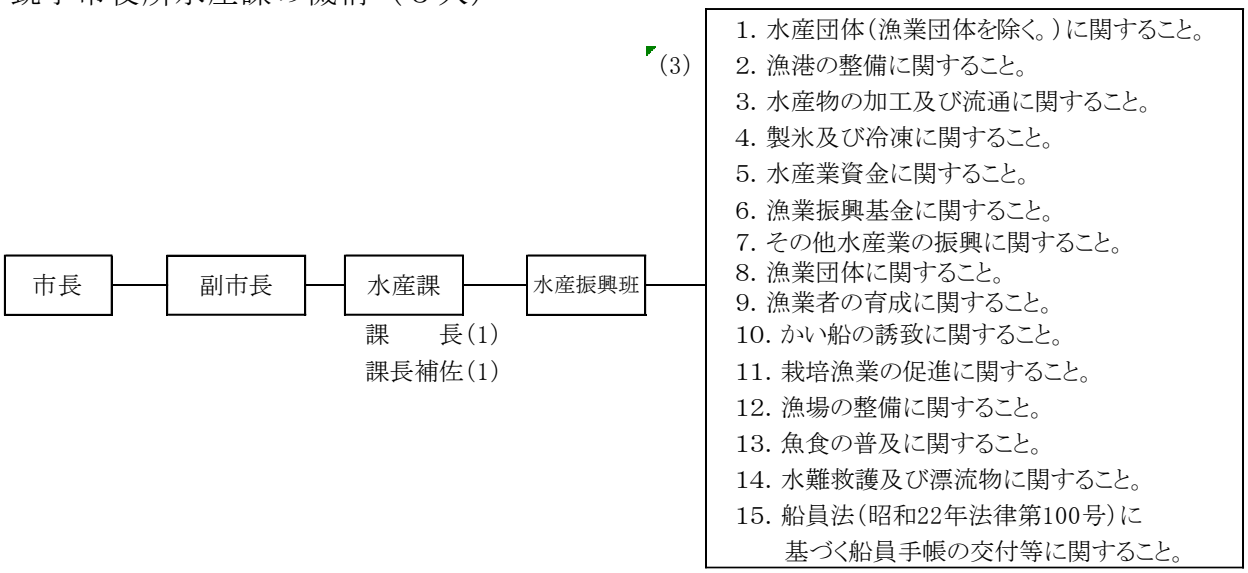
主要海面漁業許可

漁業種類			許可数	漁船規模	操業海域	操業期間	主な漁獲物
大臣許可漁業	沖合底びき網		5	15トン以上	千葉県～福島県 主に銚子沖合	9～6月	イカ タイ カレイ ヒラメ エビ アナゴ
	大中型まき網		20 12か統	40トン以上 （一部15トン以上）	千葉県～青森県 主に千葉茨城沖合	周年	イワシ サバ アジ イナダ
	基地式捕鯨		1	－	千葉県～北海道	周年	ミンククジラ ツチクジラ コビレゴンドウ
	かじき等流し網		2	10トン以上	千葉県～三陸沖合	周年	カジキ カツオ マグロ サメ
	かつお・まぐろ		4	20トン以上 （一部10トン以上）	太平洋　大西洋	周年	マグロ カジキ カツオ サメ
	北太平洋さんま		3	10トン以上	太平洋　主に北海道 ～三陸～銚子沖合	周年	サンマ
大臣届出漁業	沿岸まぐろはえ縄		3	10～20トン未満	千葉県海域 主に銚子～内房	周年	マグロ カジキ カツオ サメ
	小型するめいか釣り		101	5～20トン未満	銚子～外房	周年	イカ
広域漁調承認	沿岸くろまぐろ		451	動力漁船	太平洋 主に千葉県海域	周年	クロマグロ
知事許可漁業	中型まき網		25 16か統	5～40トン未満	全県	周年	イワシ アジ イナダ イサキ サバ スズキ
	小型底びき機船網	手繰2種のうち自家用えさびき網	157	15トン未満	外房～銚子	周年	エビ
		板びき網	10	10トン未満	九十九里・銚子	9月～5月	ヒラメ タイ フグ
	小型まき網（2そうまき）		14 7か統	5トン未満	全県　主に内湾	周年	イワシ スズキ コノシロ
	船びき機船網	しらうお船びき網	37	5トン以下	銚子～横芝光	5月～2月	シラウオ
		さより船びき網	255	10トン未満	全県	内湾 11月～4月 その他 12月～4月	サヨリ
	火光利用さば		23	5～120トン以下	千葉県～伊豆諸島沖合	周年	マサバ ゴマサバ
	敷網（あじ・さば棒受網）		1	5～120トン以下	千葉県～伊豆諸島沖合	8月～12月 （大型8～10月）	アジ サバ
	はえなわ		106	5～20トン未満	銚子～外房	周年	タイ ヒラメ ホウボウ カジキ マグロ
	かじき等流し網		2	200トン未満	銚子～外房	11月～5月	カジキ マグロ カツオ サメ
	いか釣り		100	5～20トン未満	銚子～外房	周年	イカ

（令和7年度『千葉県水産ハンドブック』から抜粋）

１７．水産行政の概要

銚子市役所水産課の機構（５人）



銚子市内の水産関連団体一覧

種類	団体名	住所	電話
官公庁等	銚子市役所水産課	若宮町1-1	0479-24-8936
	千葉県銚子水産事務所	川口町2-6385-439	0479-22-8397
	千葉県銚子漁港事務所	川口町2-6528-3	0479-22-6503
	国土交通省利根川下流河川事務所銚子出張所	新生町1-9-13	0479-22-1250
	銚子海上保安部	川口町2-6431	0479-21-0118
	横浜税関千葉税関支署銚子監視署	川口町2-6431	0479-22-2479
	銚子水産観光(株)	川口町2-6529-34	0479-25-4501
漁業	銚子市漁業協同組合	川口町2-6528	0479-22-3200
	銚子市漁業協同組合(外川支所)	外川町5-1	0479-25-1166
	下利根漁業協同組合	野尻町141	0479-33-1530
	中利根漁業協同組合	桜井町76-1	0479-33-3134
水産加工	全銚子市水産加工業協同組合	川口町2-6529-4	0479-25-4800
	銚子東浜水産加工業協同組合	川口町2-6528-74	0479-22-3062
	銚子丸振水産加工業協同組合	川口町2-6528-73	0479-22-3390
	銚子丸中水産加工業協同組合	川口町2-6528-71	0479-22-3365
水産関係団体	千葉県水産煉製品工業協同組合	川口町2-6528-89	0479-22-1232
	銚子生魚商業協同組合	川口町2-6529-5	0479-22-0324
	銚子鮮魚小売商業協同組合	川口町2-6528-76	0479-22-0185
	銚子魚介類販売協同組合	川口町2-6528-68	0479-25-2910
	銚子青魚加工協同組合	黒生町7400-3	0479-24-7712
	銚子缶詰協会(田原缶詰㈱)	橋本町1982-1	0479-22-3755
	銚子水産加工連協同組合	前宿町852	0479-20-7881
	銚子水産振興協同組合	高神西町3268-1	0479-20-0222
	東部中小企業協同組合	西小川町2844-1	0479-24-9980

１８．参考資料

漁港の状況

（令和７年３月３１日現在）

区　　分	種　　別	管　　理	泊地面積	航　　路
			㎡	㎡
銚子漁港	特定第３種	千葉県	513,900.0	173,900.0
外川漁港	第　２　種	千葉県	82,351.0	10,090.0

（単位：m）

区　　分	外　か　く　施　設				けい留施設		
	防波堤	護　岸	防砂堤	突　堤	物揚場	船揚場	岸　壁
銚子漁港	8,662.8	5,038.4	－	－	2,200.8	512.4	4,196.8
外川漁港	1,471.8	289.3	20.6	102.4	612.4	291.7	527.5

資料　銚子漁港事務所

銚子漁港水揚高の推移

自　　1月
至　　12月

年　別	隻　数（隻）	数　　量（t）	金　　額（千円）
平成　18　年	25,880	261,461	25,211,478
〃　19　年	26,488	218,607	27,005,269
〃　20　年	24,444	252,043	30,201,034
〃　21　年	24,377	223,739	23,370,899
〃　22　年	23,436	214,239	25,366,410
〃　23　年	22,803	225,618	25,016,994
〃　24　年	18,957	229,660	25,535,720
〃　25　年	21,701	214,499	26,999,439
〃　26　年	19,435	274,688	31,589,519
〃　27　年	17,839	219,261	23,455,485
〃　28　年	18,448	275,577	26,098,061
〃　29　年	17,928	280,789	27,858,116
〃　30　年	16,537	252,386	29,648,434
〃　元　年	16,191	280,366	27,485,220
令和　2　年	15,754	271,840	27,326,763
〃　3　年	15,884	280,413	27,303,006
〃　4　年	13,418	237,028	22,848,405
〃　5　年	12,737	188,965	27,281,033
〃　6　年	9,893	146,548	19,417,289
〃　7　年	12,800	223,994	24,317,032

資料　銚子市漁業協同組合

最　近　3　ヵ　年　の　魚　種　別　水　揚　高

年別 / 魚種別	令和5年			令和6年			令和7年		
	数量（t）	金額（千円）	平均（円）	数量（t）	金額（千円）	平均（円）	数量（t）	金額（千円）	平均（円）
まいわし	147,816	12,468,771	84	120,734	11,066,070	92	193,026	11,372,125	59
かたくちいわし	3,745	370,175	99	7,712	678,761	88	1,620	63,231	39
あじ類	3,517	707,125	201	1,613	314,777	195	1,343	240,081	179
さば	17,548	3,219,420	183	7,542	1,364,427	181	8,757	2,089,567	239
さんま	11	4,313	0	55	23,365	426	4,659	821,549	176
ぶり類	3,558	1,055,129	297	1,354	397,199	293	3,224	1,102,638	342
かつお	1,563	526,614	337	601	175,777	293	283	131,286	464
まぐろ	112	523,398	4,673	101	442,776	4,375	274	1,007,598	3,677
びんなが	2,839	1,156,234	407	1,775	581,035	327	1,954	749,771	384
めばち	307	620,852	2,022	514	880,010	1,711	239	478,882	2,004
きはだ	567	438,377	773	210	237,595	1,134	1,446	1,003,137	694
まかじき	69	68,575	994	80	53,577	674	43	35,995	837
めかじき	240	326,463	1,360	184	238,395	1,298	160	204,224	1,276
さめ類	402	55,477	138	335	54,067	162	267	48,257	181
かれい類	37	38,182	1,032	41	44,423	1,086	23	24,800	1,078
きんめだい	509	1,127,022	2,214	363	875,965	2,412	390	963,525	2,471
たい類	426	175,866	413	232	130,168	562	327	194,769	596
えび類	14	27,487	1,963	14	33,720	2,375	11	22,330	2,030
その他	5,685	4,371,554	769	3,089	1,825,182	591	5,948	3,763,267	633
計	188,965	27,281,034	144	146,548	19,417,289	132	223,994	24,317,032	109

資料　銚子市漁業協同組合

全国147漁港　令和6年（2024年）主要魚種水揚量

上場水揚量（ｔ）、価格（円/kg）、水揚金額（千円）

まいわし				
漁港別水揚順位	2　位	上場水揚量	価格	水揚金額
1	釧　　路（北海道）	148,165	53	
2	銚　　子（千　葉）	120,734	92	11,066,070
3	広　　尾（北海道）	56,934	54	
4	境　　（鳥　取）	53,406	68	
5	八　　戸（青　森）	38,533	59	

かたくちいわし				
漁港別水揚順位	1　位	上場水揚量	価格	水揚金額
1	銚　　子（千　葉）	7,712	88	678,761
2	白　　子（三　重）	6,621	90	
3	豊　　浜（愛　知）	6,398	62	
4	宇 出 津（石　川）	3,301	67	
5	北　　浦（宮　崎）	1,606	82	

さめ類				
漁港別水揚順位	2　位	上場水揚量	価格	水揚金額
1	気 仙 沼（宮　城）	10,070	274	
2	銚　　子（千　葉）	335	161	54,067
3	塩　　釜（宮　城）	309	177	
4	八　　戸（青　森）	272	51	
5	浦　　河（北海道）	207	223	

くろまぐろ（生）				
漁港別水揚順位	5　位	上場水揚量	価格	水揚金額
1	塩　　釜（宮　城）	1,769	3,062	
2	境　　（鳥　取）	1,071	1,682	
3	深　　浦（青　森）	259	1,205	
4	大　　間（青　森）	193	7,628	
5	銚　　子（千　葉）	101	4,374	442,776

びんなが（生）				
漁港別水揚順位	4　位	上場水揚量	価格	水揚金額
1	勝　　浦（和歌山）	6,495	476	
2	気 仙 沼（宮　城）	3,727	465	
3	那　　覇（沖　縄）	2,460	417	
4	銚　　子（千　葉）	1,775	327	581,035
5	塩　　釜（宮　城）	1,263	422	

めばち（生）				
漁港別水揚順位	4　位	上場水揚量	価格	水揚金額
1	塩　　釜（宮　城）	855	1,741	
2	那　　覇（沖　縄）	707	1,194	
3	勝　　浦（和歌山）	611	1,562	
4	銚　　子（千　葉）	514	1,711	880,010
5	糸　　満（沖　縄）	171	1,116	

きはだ（生）				
漁港別水揚順位	2　位	上場水揚量	価格	水揚金額
1	勝　　浦（和歌山）	1,866	1,240	
2	銚　　子（千　葉）	711	813	578,159
3	油　　津（宮　崎）	708	1,519	
4	糸　　満（沖　縄）	694	875	
5	那　　覇（沖　縄）	573	969	

まかじき（生）				
漁港別水揚順位	3　位	上場水揚量	価格	水揚金額
1	気 仙 沼（宮　城）	154	702	
2	勝　　浦（和歌山）	153	748	
3	銚　　子（千　葉）	80	674	53,577
4	塩　　釜（宮　城）	74	524	
5	油　　津（宮　崎）	35	728	

めかじき（生）				
漁港別水揚順位	2　位	上場水揚量	価格	水揚金額
1	気 仙 沼（宮　城）	1,897	1,241	
2	銚　　子（千　葉）	184	1,298	238,395
3	塩　　釜（宮　城）	170	1,045	
4	勝　　浦（和歌山）	109	1,211	
5	那　　覇（沖　縄）	101	802	

くろかわ類（生）				
漁港別水揚順位	4　位	上場水揚量	価格	水揚金額
1	勝　　浦（和歌山）	322	474	
2	那　　覇（沖　縄）	147	421	
3	糸　　満（沖　縄）	55	432	
4	銚　　子（千　葉）	44	469	20,869
5	鹿 児 島（鹿児島）	28	633	

あなご				
漁港別水揚順位	4　位	上場水揚量	価格	水揚金額
1	浜　　田（島　根）	207	849	
2	下　　関（山　口）	207	882	
3	石　　巻（宮　城）	160	1,377	
4	銚　　子（千　葉）	78	891	69,155
5	平　　潟（茨　城）	55	730	

すずき				
漁港別水揚順位	4　位	上場水揚量	価格	水揚金額
1	石　　巻（宮　城）	520	485	
2	相馬原釜（福　島）	162	342	
3	豊　　浜（愛　知）	140	611	
4	銚　　子（千　葉）	131	643	84,347
5	舞　　鶴（京　都）	95	628	

かつお（生）				
漁港別水揚順位	１０　位	上場水揚量	価格	水揚金額
1	気仙沼（宮城）	32,368	310	
2	勝浦（千葉）	5,167	383	
3	鹿児島（鹿児島）	4,579	363	
4	愛南（深浦）（愛媛）	2,687	405	
	＼			
10	銚子（千葉）	601	293	175,777

うるめいわし				
漁港別水揚順位	１２　位	上場水揚量	価格	水揚金額
1	長崎（長崎）	17,221	75	
2	北浦（宮崎）	6,923	98	
3	牛深（熊本）	3,691	127	
4	奈屋浦（三重）	2,597	98	
	＼			
12	銚子（千葉）	680	116	78,977

さば類				
漁港別水揚順位	１０　位	上場水揚量	価格	水揚金額
1	松浦（長崎）	43,445	141	
2	境（鳥取）	41,872	122	
3	石巻（宮城）	23,645	118	
4	唐津（佐賀）	16,501	139	
	＼			
10	銚子（千葉）	7,542	181	1,364,427

ちだい・きだい				
漁港別水揚順位	７　位	上場水揚量	価格	水揚金額
1	下関（山口）	906	290	
2	浜田（島根）	309	394	
3	佐世保（長崎）	207	222	
4	長崎（長崎）	204	336	
	＼			
7	銚子（千葉）	77	289	22,367

その他まぐろ類（生）				
漁港別水揚順位	７　位	上場水揚量	価格	水揚金額
1	勝浦（千葉）	1,379	377	
2	鹿児島（鹿児島）	1,321	483	
3	気仙沼（宮城）	1,025	410	
4	長崎（長崎）	960	1,723	
	＼			
7	銚子（千葉）	379	739	280,394

ひらめ				
漁港別水揚順位	１１　位	上場水揚量	価格	水揚金額
1	相馬原釜（福島）	442	971	
2	石巻（宮城）	419	664	
3	東通（青森）	142	937	
4	八戸（青森）	124	697	
	＼			
11	銚子（千葉）	87	1,042	90,695

めぬけ類				
漁港別水揚順位	９　位	上場水揚量	価格	水揚金額
1	羅臼（北海道）	22	2,578	
2	釧路（北海道）	11	1,603	
3	舞鶴（京都）	9	1,651	
4	歯舞（北海道）	5	3,953	
	＼			
9	銚子（千葉）	1	1,830	1,506

ぶり類				
漁港別水揚順位	１２　位	上場水揚量	価格	水揚金額
1	東町（鹿児島）	10,783	879	
2	長崎（長崎）	6,702	373	
3	境（鳥取）	4,856	273	
4	松浦（長崎）	3,238	231	
	＼			
12	銚子（千葉）	1,354	293	397,199

まあじ				
漁港別水揚順位	１１　位	上場水揚量	価格	水揚金額
1	松浦（長崎）	13,447	250	
2	長崎（長崎）	12,077	268	
3	境（鳥取）	7,472	157	
4	唐津（佐賀）	5,980	300	
	＼			
11	銚子（千葉）	1,608	195	314,152

さんま				
漁港別水揚順位	１１　位	上場水揚量	価格	水揚金額
1	根室（北海道）	20,126	460	
2	大船渡（岩手）	5,655	492	
3	女川（宮城）	3,768	505	
4	気仙沼（宮城）	3,608	461	
	＼			
11	銚子（千葉）	55	426	23,365

出典元：2024年水産物流通調査（確定値）より抜粋

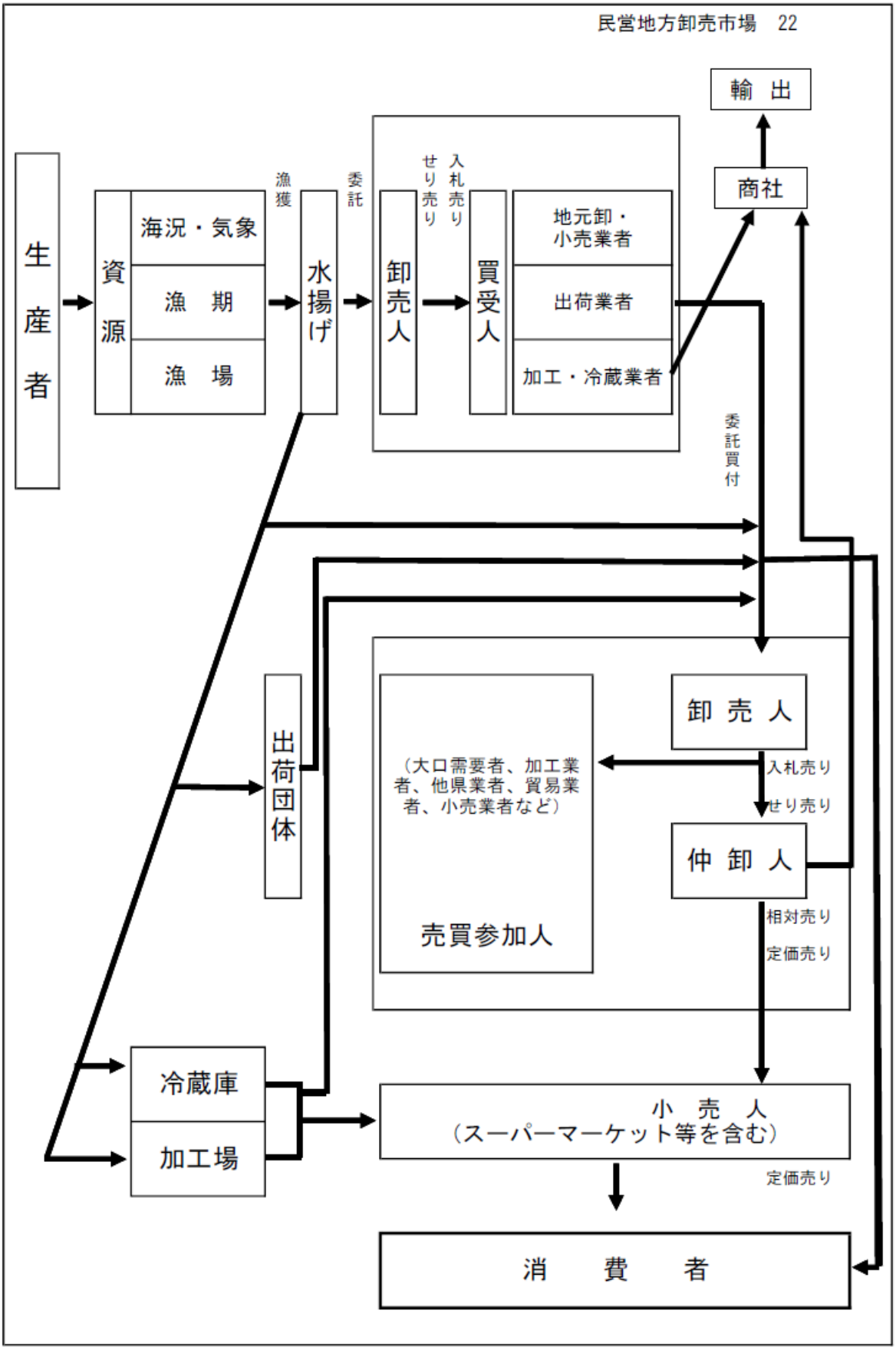
※銚子市漁協の水揚統計数値と異なります

氷生産高・使用高

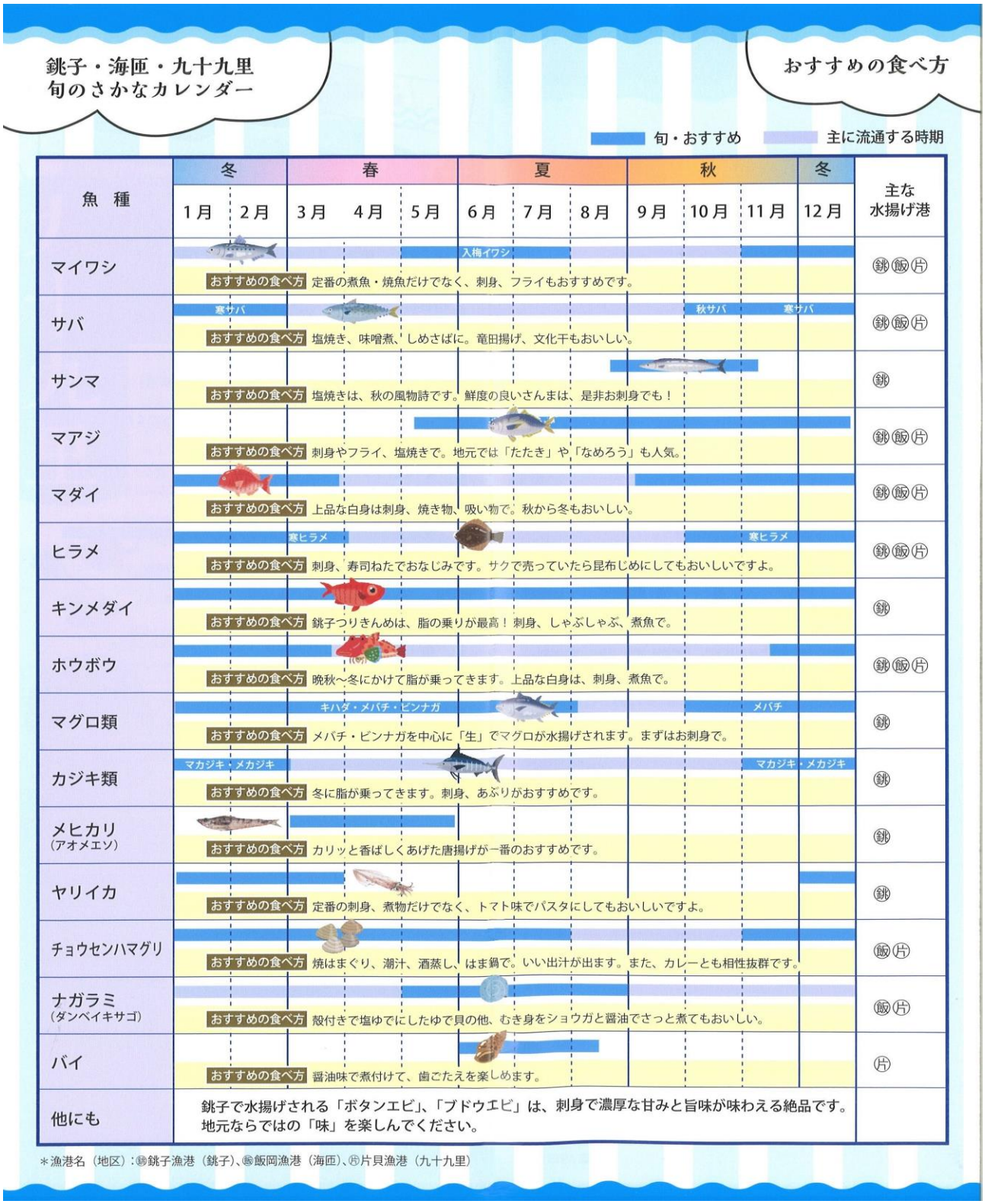
（単位:トン）

区分／年	生産高			使用高					
	生産	移入	合計	水産用				一般市販用	合計
				船積用	鮮魚出荷用	その他	計		
30	108,918	4,624	113,542	68,444	34,156	11,032	113,632	332	113,964
元	102,322	4,402	106,724	61,867	34,016	11,685	107,568	225	107,793
2	96,307	5,420	101,727	61,387	30,512	8,524	100,423	0	100,423
3	85,226	7,483	92,709	63,080	26,486	3,395	92,961	0	92,961
4	69,490	5,015	74,505	52,565	20,124	797	73,486	0	73,486
5	60,725	2,038	62,763	44,307	18,515	533	63,355	0	63,355
6	49,073	1,836	50,909	36,681	14,089	611	51,381	0	51,381
7	66,230	682	66,912	49,616	17,734	560	67,910	0	67,910

（3）水産物の主な流通経路



『千葉県水産ハンドブック』より抜粋



『銚子・海匝・九十九里　地域のおさかな発見ガイド』より抜粋
発行：千葉県広域水産業再生委員会　銚子・九十九里区部会